

古代相模原台地の生活を大々的に展示します

今回の企画展では、約 1,400~1,000 年前の古墳時代から平安時代を中心とした相模原台地の開発をテーマに展示します。博物館でこの時代を中心に扱う企画展は初めてです。相模原の原野が耕地へと開発されていったことを示す鉄製の農具や、文字の普及を示す墨で文字が書かれた土器、仏教の浸透を示すさまざまな遺物など、当時の人々の生活のいぶきを感じられる展示となっております。展示品を通して、奈良や京都の煌びやかな都のイメージとは違った、地方の村落に暮らしていた人々の生活に思いを馳せてみませんか。

展 示：考古企画展「古代相模原台地の開発」

期 間：令和4年1月29日（土）～令和4年3月13日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時

休 館 日：毎週月曜日、2月24日（木）

場 所：相模原市立博物館 特別展示室 **観覧無料**

ギャラリートーク：2月6日（日）、2月27日（日）、3月13日（日）

担当学芸員による展示解説。いずれも午後2時から特別展示室にて開催。申し込み不要。



墨で文字が書かれた土器



田名塩田原遺跡からみつかった建物の柱跡



橋本遺跡から出土した土器



平安時代の鉄製農具と砥石

詳しくは、別添チラシをご覧ください。

問い合わせ先
相模原市立博物館
担当者 長澤・河本
Tel : 042-750-8030

考古
企画展

古代相模原台地の開発



田名塩田原遺跡・
田名花ヶ谷戸遺跡出土の鉄製農具と砥石



谷原2号墳出土装身具類



矢掛・久保遺跡竪穴住居跡



田名塩田原遺跡掘立柱建物跡



墨書土器(田名塩田原遺跡群)



橋本遺跡出土須恵器杯

田名稲荷山遺跡道路状遺構(神奈川県教育委員会提供)

令和4年 **1.29** [土] ~ **3.13** [日]

【会場】 相模原市立博物館
特別展示室 **観覧無料**

【開館時間】 9:30 ~ 17:00 【休館日】 月曜日、2月24日(木)



考古企画展

古代相模原台地の開発

相模原市の東部には、境川と相模川に挟まれた相模原台地が広がり、3万年以上前から川辺の台地で人々が生活していました。原野となっていた相模原台地の本格的な開発は、およそ1,400年前の古墳時代末頃から始まったと考えられ、その後、平安時代には広範囲に開発が及んでいきます。

今回の企画展では、市内の発掘調査によって明らかとなった古墳時代から平安時代を中心とした相模原台地の開発と人々の生活に焦点をあて、現代の私たちにもつながる先人の歩みを振り返ります。



奈良時代の土師器(古淵B遺跡)

[展示構成]

- I 開発の波
- II 集落と道
- III 古代集落の生活
- IV 古代の終焉



土師器坏(新戸釣瓶下遺跡)



紡錘車(矢掛・久保遺跡ほか)

[同時展示]

博物館考古情報コーナー

「2021年 津久井城跡市民協働調査の成果」

[ギャラリートーク]

日時 2月6日(日)

2月27日(日)

3月13日(日)

14:00~14:30

会場 特別展示室

(直接会場にお越しください)



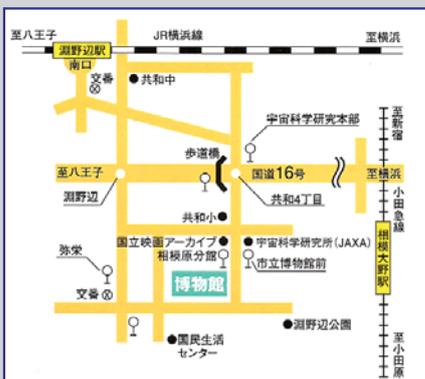
羽釜(大島岨山・中ノ原遺跡)



龍文鏡(田名半在家遺跡G地点)



中世の青磁碗(新戸遺跡 神奈川県教育委員会所蔵)



- [淵野辺駅南口から]
 - 徒歩20分
 - バス青葉循環博物館廻り(淵37系統)
「市立博物館前」下車すぐ
 - バス青葉循環共和廻り(淵36系統)
「市立博物館前」下車すぐ

- [相模大野駅北口から]
 - バス相模原駅南口行き(相02系統)
「宇宙科学研究本部」下車5分
- [相模原駅南口から]
 - バス相模大野駅北口行き(相02系統)
「宇宙科学研究本部」下車5分

- [上溝駅から]
 - バス淵野辺駅南口行き(淵52・53・59系統)「弥栄」下車8分
- [お車で越しの場合] 無料駐車場95台

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、内容の変更や開催中止となる場合があります。開催状況に関する情報は博物館ホームページでご確認ください。

 相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

〒252-0221 神奈川県相模原市中央区高根3-1-15
TEL:042-750-8030/FAX:042-750-8061
<https://sagamiharacitymuseum.jp/>



博物館ホームページ